

おokayama食育推進協賛事業認定状況

(平成22年8月末現在)

番号	事業の名称	事業主体	事業内容
10	マックスバリュ西日本が推進する食育活動	マックスバリュ西日本	店舗内で食育についてのゲーム、クイズ、説明を聞き、食べ物について「見て」「聞いて」「食べる」など五感を使って体験し、楽しみながら学習した。 「食育月間」や「食育の日」に地域の食育推進団体と食育のイベントを実施し、地域ぐるみで食育の推進を図った。
11	東備食育フェスタ	東備地域食育推進協議会	食育月間に併せて、東備地域食育推進協議会構成団体がそれぞれの活動に沿ったイベントを行い食育の普及啓発を行った。
12	こども健康教室「肥満を防ごう」	笠岡第一病院	親子、保健関係者、学校関係者などを対象とし、将来の健康に大きく影響する肥満をテーマに、心と身体の基礎が作られる小児期に大切な生活リズム(食べる・遊ぶ・眠る)の体験を含めた内容の講習を行った。
13	「浜の母ちゃん」の親子魚料理教室	岡山県漁協女性部連絡協議会	若い人や子供たちの「魚離れ」が進んでいる現状の中で、「新鮮な魚のおいしさ」を今一度知っていただき、そのおいしさを味わってもらうため、親子魚料理教室を開催し、魚についての知識、魚を使った料理、食べ方、簡単な加工品作りなどを伝えた。
14	朝食毎日食べよう大作戦	岡山県栄養改善協議会	朝食を毎日食べる子どもの割合を増やすため、朝食の大切さを普及啓発するとともに、子供たちが自分で作れるおにぎりを取り入れた調理実習を行い、規則正しい食生活習慣の定着を働きかけた。

「おかやま食育推進協賛事業」優良事例表彰実施要領(案)

1 目的

「食育」は、県民の積極的な参加を得て、関係者の協働により、様々な食育推進のための活動が行われ、地域に定着することが大切である。このため、各種の団体、学校、企業、市町村等が行っている様々な食育推進の活動をおかやま食育推進協賛事業として認定している。

これまでも、実施された事業は随時、ホームページに掲載し、紹介してきたが、他の地域、団体等の模範となる取組や先駆的な取組を表彰し、さらに推進をはかることを目的とする。

2 表彰対象

平成21年度、平成22年度に「おかやま食育推進協賛事業」として認定した事業を行った団体で、今後も食育推進の活動が見込める団体

3 表彰件数

概ね5件程度

4 表彰の選考等

選考委員会を設置し、選考委員が「5 選考基準」により選考し、決定する。

選考委員は岡山県食の安全・食育推進協議会委員から学識経験者、消費者関係団体代表者、生産者関係団体代表者から5名程度で組織する。

5 選考基準

(1) 活動内容

それぞれの生活や地域の特徴をふまえ、かつ加工・生産・流通、食事づくり・食べる、栄養・健康、生活力形成や地域づくりという「食の循環」全体をとらえ、その中で自分たちの活動目的や目標を位置づけ、活動を進めているか。

(2) 活動の波及

地域の関係者と活動内容を共有し、効果的に連携をしているか。

(3) 活動の評価

活動を目的・目標に合わせて評価し、他の人々にも評価され、地域全体の食育推進に貢献しているか。

(4) 活動の継続性・安定性

活動を計画的に進め、今後も継続が可能か

(5) 活動の独創性

創意・工夫を重ね、先進的で、他の地域やグループの食育推進に勇気や希望を提案するような活動か。

6 表彰

第2回食の安全・食育推進協議会において表彰する。